

平成27年4月27日

カンボジア歯科医療支援活動～
こどもたちの歯を守りたい

【教育機能】

カンボジアの人々による自立・自律した歯科医療をめざす

カンボジアでは、長い内戦やポル・ポト政権下における知識層大量虐殺等の影響から、現在でも歯科医師が不足し、医療制度の未整備や経済格差によって、多くの国民にとって歯科受診は困難であり、口腔保健を学ぶ機会もほとんどありません。

歯学部は、「アジアの子どもの歯を守る会（NPO 法人 NGO ひろしま）」と協力し、平成21年からこれまで8回、カンボジアでの歯科医療支援活動を行っています。

広島大学の教職員や大学院生、学部学生の有志からなるメンバー延べ181人（うち学部生77人）が支援活動を行いました。

これまでの活動で、延べ約6,300人の歯科健診や治療を行ったほか、将来を見据えての歯科保健教育にも力を入れており、小学校での歯みがき指導の定着など、目に見える成果も上がってきています。

今後カンボジアで求められるのは、できてしまったう蝕を治す「治療」から、う蝕を作らない「予防」です。

今後もカンボジアでの歯科医療支援活動を通じて、児童・保護者・教員の口腔衛生意識の向上に向けた教育、治療と予防のために現地病院との連携、大学における広い視野を持った歯科医師の育成、教育などに貢献するとともに本学の学生の人材育成を行っていきます。

活動の概要

- 「個人」へのアプローチ
シェムリアップ州市内および郊外の小学校、プノンペン「ひろしまハウス」などでの歯科健診や治療、口腔内写真撮影、ブラッシング、口腔衛生指導等の実施
- 「学校」へのアプローチ
小学校教員や小学校教員養成機関での口腔保健指導に関する研修会の開催、指導用教材の提供等
- 「病院」へのアプローチ
う蝕予防啓発活動の共同実施、歯科治療における協力体制の構築等

- 「大学」へのアプローチ
国内に3校ある歯科医師養成大学と協力し、上記プログラムの共同実施、学術的交流、人材交流等
- 「国」へのアプローチ
保健省口腔保健局と協力の下、小児の口腔健康についての現地語の冊子作製、職員の広島での研修受け入れ等を実施
- その他
広島大学歯学部は、2011年度より、本学と学術交流協定を結んでいるカンボジアなどアジアの歯学部から特別聴講学生（毎年3人程度）を迎えて国際歯学コースを開始しています。
国際歯学コースの特別聴講生へは、本学から毎月10万円の奨学金を給付。来日後半年間の日本語研修や基礎的教育を受け、翌春より専門基礎教育、専門臨床教育、臨床予備実習からなる3年6か月のプログラムを受けます。その後、母国において必要な臨床実習を行い、母国で歯科医師国家試験を受験します。指導は基本的に英語で行い、日本人学生と合同の講義および実習では英語と日本語を合わせた dual linguistic education システムで教育します。

【お問い合わせ先】

広島大学歯学部 国際歯科医学連携開発センター 国際活動企画運営部（香西・岩本） TEL: 082-257-5698（小児歯科） E-mail: yuko-tulip@hiroshima-u.ac.jp（岩本）



カンボジア歯科医療支援活動 ～こどもたちの歯を守りたい～

広島大学歯学部
国際歯科医学連携開発センター
国際活動企画運営部
(香西・岩本)

背景

1970年代後半 ポル・ポト派による
医師・教師などの知識層大量虐殺

歯科医師
不足

健康保険
なし

経済格差

多くの国民は
歯科医療受診困難



健康教育を受ける
機会がない

口腔衛生の意識欠如

カンボジア小学校児童の口腔内状況



活動の目的

歯科健診

歯科治療



健康教育

口腔衛生状態の向上



予防プログラムの確立



カンボジア全域での
自律した歯科医療の実現

第1回～第8回 活動の概要



<実施時期>

事前視察：2009年2月

第1回：2009年9月（2日間）

第2回：2010年2月（3日間）

第3回：2010年9月（3日間）

第4回：2011年2月（3日間）

第5回：2012年2～3月（5日間）

第6回：2013年2月（5日間）

第7回：2014年2～3月（6日間）

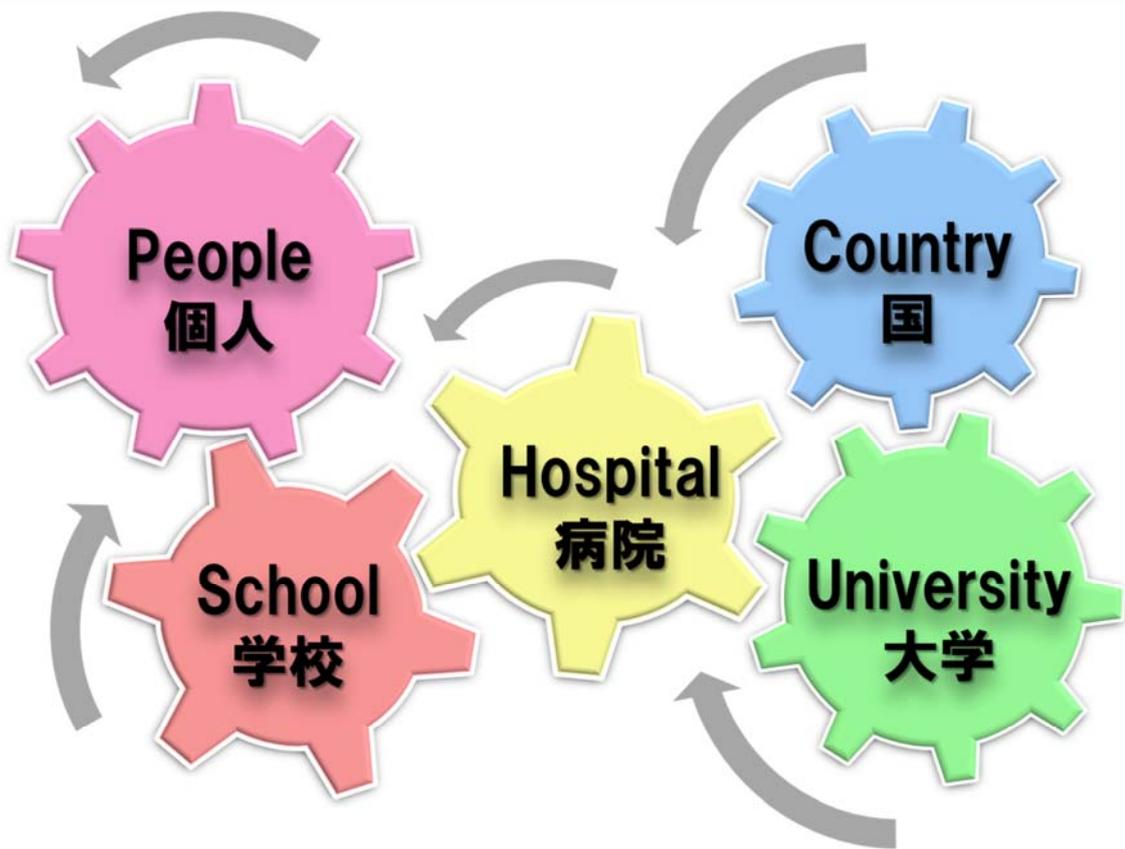
第8回：2015年2～3月（6日間）

参加者		#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8
広島大学 教職員等	歯科医師	4	7	11	5	15	19	12	12
	歯科衛生士	3	2	4	2	2	2	2	2
広島大学 学部生	歯学科	6	2	3	3	8	7	4	5
	口腔健康科学科	3	1	4	0	4	8	8	11
一般 開業医	歯科医師	3	1	2	0	1	2	0	2
	歯科衛生士	4	2	3	0	2	3	1	0
その他	コーディネーター等	22	4	1	5	3	9	8	4
カンボジア現地合流スタッフ				1	6	6	8	9	16
合計		45	19	29	21	41	58	44	52

第1回～第8回 活動の概要（歯科健診等実施数）

	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8	健診等 延べ人数 (人)
ササースダム中核小学校									
視察前	歯科健診・口腔衛生指導・アンケート調査等 治療								2,916
ワット・ポー小学校									
視察前	① 歯科健診・口腔衛生指導・アンケート調査等 ② ③ ④ 教員研修会								2,861 研修会 約350
シエムリアップ州教員養成校									
視察前	① 模擬授業 ②								研修会 約500
附属小学校									
視察前	① 歯科健診								351
プノンペン「ひろしまハウス」									
視察前	① 歯科健診 ② 口腔衛生指導								34
その他									123
計									6,285

さまざまな対象へのアプローチ



<個人へのアプローチ> : ササースダム中核小学校



歯科健診・口腔内写真



歯科治療



アンケート・唾液検査



紙芝居による指導



歯みがき指導(個人)



歯みがき指導(集団)

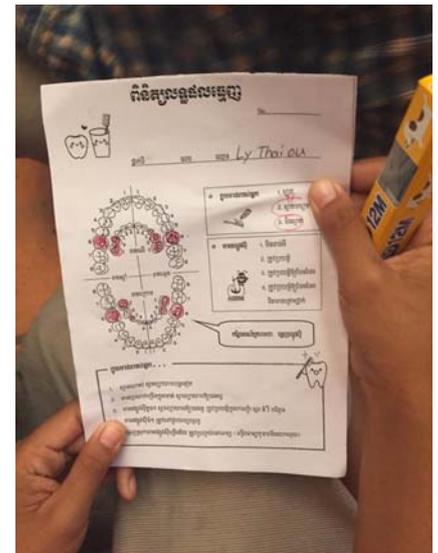
＜個人へのアプローチ＞： プノンペン「ひろしまハウス」



ひろしまハウス



歯科健診



健診結果の
フィードバックと
個別指導

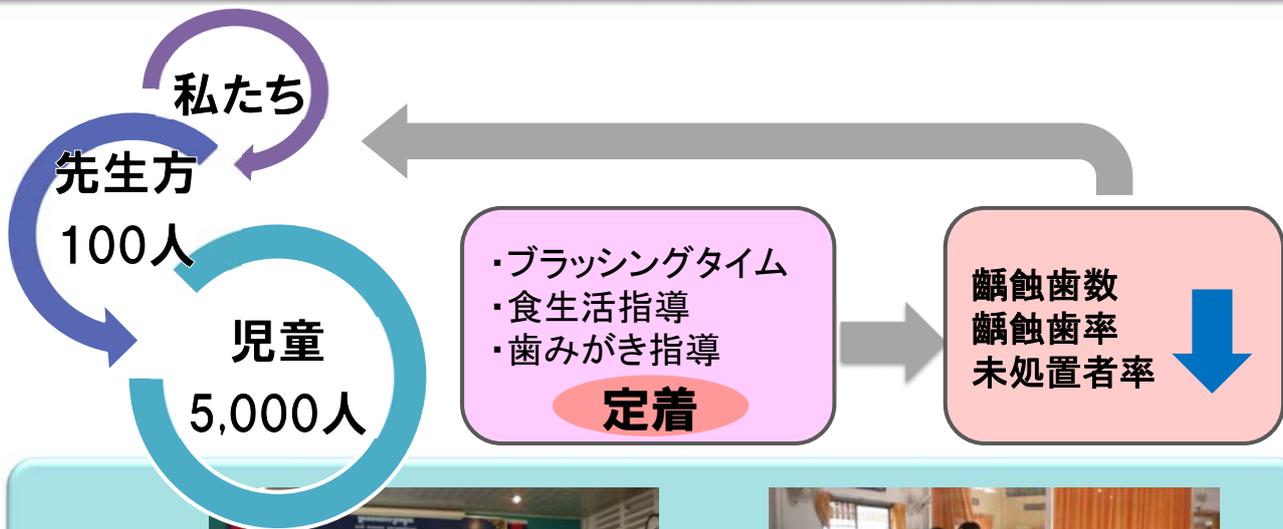


歯みがき指導（個人）



紙芝居による指導

＜学校へのアプローチ＞： ワット・ポー小学校



教員対象

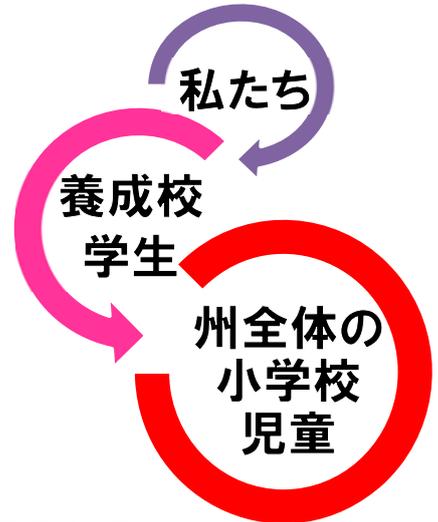


口腔保健指導研修会



口腔衛生指導

＜学校へのアプローチ＞： シェムリアップ州教員養成校



＜病院へのアプローチ＞

近隣の歯科病院との協力体制構築



<大学へのアプローチ>

大学歯学部との人材交流と協力・教育支援



▲ 歯科支援活動において
カンボジアの歯科学生と協力



▲ 国立健康科学大学にて
セミナー実施



▲ デンタルチェア
ユニットの寄贈



▲ 歯科学生との学術的な交流

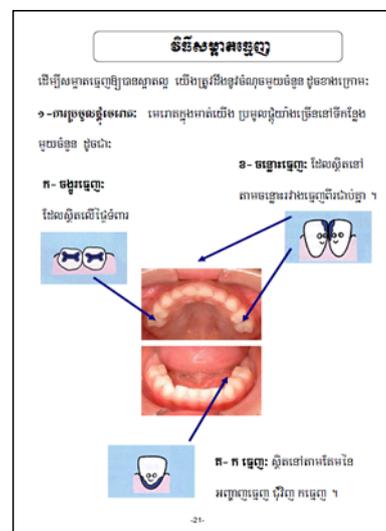
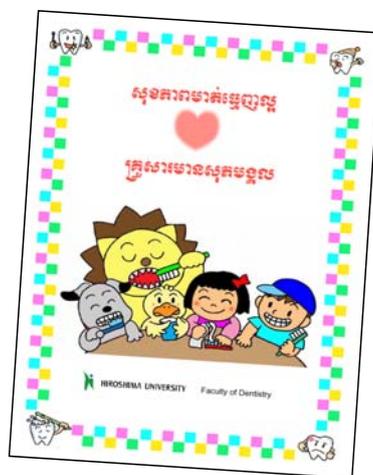


◀ 広島大学への
留学生受け入れ
(国際歯学コース学部学生
・大学院生)

<国へのアプローチ>

保健省口腔保健局との人材交流・支援

- 広島での研修受け入れ
- 口腔衛生指導冊子の共同作成



▲ 作成した冊子の表紙と内容例

今後の見通し



現地の現在のニーズ

できてしまった齲蝕を治す
「治療」



齲蝕を作らない
「予防」



カンボジアの人々の手による
自立・自律した歯科医療

児童, 保護者の口腔衛生意識の向上	個人
教員の意識向上, 口腔衛生指導法の教育	学校
治療と予防における現地病院との連携	病院
広い視野を持った歯科医師の育成, 教育	大学
国レベルの歯科衛生政策の実施	国

